

2021年4月2日(金)

2021年度 定期大会 議案：2021年度 活動方針

つくろう、新しい答え。

～政策提案型から政策先導型へ～

2020年9月15日、東京都内で設立大会を開催し、国民民主党は再始動しました。「提案型の改革中道政党」として、国民生活向上のために新たなスタートを切ることを確認しました。

2020年秋以降、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、国民の命や健康、経済、生活、暮らしを守っていくため、コロナ対策を先手、先手で提案し、政府与党を動かしてきました。国民民主党は、「政策提案型」からさらに進化し、「政策先導型」の政党へと変貌しつつあります。

日本を取り巻く課題は、コロナ対策だけではありません。急速に進む人口減少、格差拡大、緊張を増す国際情勢など、様々な課題について、「新しい答え」を積極的に提案し、日本を変える先導役を果たしていきます。

【選挙対策】

国民民主党の理念、政策を一人でも多くの人に伝えるとともに、国民一人ひとりの声を受け止め、「新しい答え」に磨きをかけていくためには、一つでも多くの地域に、一人でも多くの仲間を増やしていく必要があります。

本年も各地で地方自治体選挙が行われます。7月には都議会議員選挙も予定されています。公認・推薦料制度を設け、各地の選挙における勝利を後押しし、地域からの党組織の基盤強化を進めます。連合組織内をはじめとする友好関係議員候補者への支援、協力も積極的に行い、地方自治体議員の連携の絆を拡大・強化します。

また、本年必ず実施される衆議院議員選挙に勝利しなければなりません。党の資源を集中的に投入するとともに、すべての取り組みを選挙に直結させ、勝利するための体制を整えます。地域事情等を勘案しつつ、野党候補をできる限り一本化する一方、各比例ブロックにおいても議席を獲得するため、党公認候補の擁立を進めます。来年に控える参議院議員選挙も視野に入れ、選挙区・比例区での勝利に向け、一体的に取り組みを進めます。

【各界交流】

コロナ禍で対面でのやり取りに制限がある中、インターネットなどあらゆる手段を利用して、国民の皆様との双方向のコミュニケーションを図り、政策をつくり、磨き上げます。

最大の支援団体である連合並びに構成組織（産別）をはじめ、これまでご支援を頂いてきた方々との連携をさらに深めていきます。経済産業界、医療福祉業界、宗教界をはじめ、各

分野の団体、NPO、市民団体などと積極的に対話を進め、連携・協力関係を構築するべく取り組みを強化します。

諸外国との政党レベルでの交流を促進し、信頼醸成に努めるとともに、関係各国との関係を構築していきます。北朝鮮問題の解決に向けて国際社会の一致結束した行動の重要性を関係国に訴えます。

また、他の野党とは国会活動、選挙に向けた活動などにおいて、連携していきます。そのため、私たち自身が関係構築に向けて積極的に取り組むとともに、他党からの呼びかけに対しては常にドアをオープンにしていきます。

【政策活動/国会活動】

国民生活向上のため、綱領と基本理念をもとに政策をさらに磨き上げ、先手、先手で提案し、「政策先導型」で国会論戦を牽引します。国会内でも他の野党とも最大限連携しつつ、独自性を発揮していきます。

政務調査会のもとで、部会及び調査会等で議論を積み上げるとともに、WEB会議の活用等によって都道府県連の意見を積極的に反映させます。連合との定期的な意見交換をはじめ、経済団体、NPOなど各界との政策協議、連携強化を一層進めます。

当面の最大の課題として、新型コロナウイルス対策に引き続き注力するとともに、東日本大震災・原発事故を決して風化させることなく、引き続き国政の最重要課題の一つとして取り組んでいきます。また、異常気象等の影響から近年特に被害が拡大しつつある自然災害等への対策と復興にも党を挙げて取り組みます。

【男女共同参画】

女性候補者比率35%の達成に向けて、取り組みを進めます。女性議員を増やすために、擁立した女性候補の必勝を期し、支援体制を構築します。女性が出産・子育て中でも議員活動を続けられる環境整備にも取り組みます。あらゆるハラスメントの根絶、困難を抱える女性への支援のあり方について検討を行います。連合や関係組織との協力を密にするとともに、女性の政治参画を支援する団体、子育て支援のNPO等とも幅広く連携していきます。

【組織活動】 党員・サポーターの倍増をめざし党勢拡大へ

国民民主党と理念や政策を共有する幅広い地方議員の結集を図ります。また、各々の地域の実情を踏まえ、ローカルパーティーや政治団体との連携・協力を進めます。地域の真摯な声を党運営に反映させながら、国民民主党を地域に根付かせる活動を展開します。

県連の設置をはじめとする地域組織の立ち上げに尽力し、党の礎である組織の構築と活性化を通じて各種自治体選挙、衆議院議員選挙での勝利を実現します。党員・サポーターの5万人への倍増をめざし、党勢の拡大を着実に進めます。

【国民運動】

まずは目前に迫る総選挙をはじめ、党所属議員及び公認予定候補者の選挙勝利に向けて、

街頭宣伝活動などに集中的に取り組むとともに、地域が求める活動を党本部として受け止めながらきめ細かく展開します。

また現場のニーズを踏まえながら、役員派遣や地域活動に必要な資材を制作・配布します。世の中の潮流を捉え、現場が使いやすいコンテンツや機材の製作に取り組むとともに、全国各地にできる限り足を運ぶ運動を展開します。

所属議員の専門性を打ち出しながら、地方自治体議員と連携して現場主義を徹底的に貫くことによって、党の認知度・支持率の向上を目指します。こくみんうさぎを用いた多様なグッズの展開にも積極的に取り組みます。国会議員不在県連、県連未設置の県について、近隣の県連との緊密な連携や訪問活動などにより、地域の実情に配慮した党勢拡大に取り組みます。多くの青年世代同士の絆を広げ、深める取り組みもあわせて進めます。

【広報活動】

きたる総選挙に向け、ホームページ、Twitter、Facebook、LINE、Instagram、YouTube など、党が所有する独自メディアによる情報発信を質量ともに充実させ、それぞれの媒体の特性を活かしながら、国民民主党の考え方がより多くの国民に届くよう発信力の強化に取り組みます。国民民主党の考え方が、より多くの国民に届くよう発信力の強化にも取り組みます。その際、若者や女性をはじめ、働く方々や有権者のそれぞれのライフスタイル、地域特性なども踏まえたオンライン上の取り組みを行います。具体的には、各議員による SNS の活用を支援しつつ、必要な時に必要な情報を必要な所に届けるためのターゲティング広告などを活用することによって、効果的かつ効率的に党の認知度向上を図ります。

機関紙「国民民主プレス」は2カ月に1回の頻度で発行してきましたが、総選挙を視野に入れ、各議員がそれぞれの地域で活用できる号外版の作成支援に取り組みます。また、政務調査会や国民運動局とも連携・連動しながら「政策先導型」の姿勢を前面に打ち出し、全国キャンペーンを展開するなど、総選挙に向けた『対話型』の取り組みを加速させます。

【財務活動】

厳しい財政状況のなかにあっても、自治体選挙、都議会議員選挙、衆議院議員選挙を勝ち抜くために資金を集中して支出します。都道府県連に対する支援の維持を図りつつ、従来の支出については例外を設けずに見直しを行います。国民民主党の支持率向上のための施策にも重点を置きます。